

草地基盤の整備（不陸や傾斜を修正）

1. 草地に不陸や傾斜等があるとどんな障害があるの？

① 営農作業機械等の作業効率が低下します。



不陸や傾斜により刈り残しが発生

② 地表水の滞水により牧草の生育悪化となります。

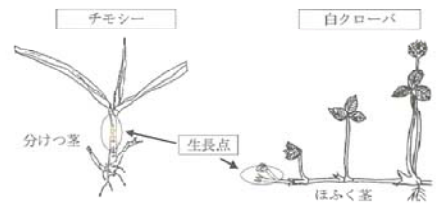


不陸の窪地に滞水

③ チモシー等の牧草においては不陸により、5cm 以下に低刈りになると生長点が切除され再生が劣り、15cm 以上の高刈りになると刈り残しによる損失が増大して粗飼料の生産性悪化をおこします。適正な刈高さは 10cm 前後とされます。

※ 生長点とは？

植物の新芽の先端には、細胞分裂の旺盛な生長点がありそこでは、花芽葉の原型が作られます。通常、植物は、生長点が切除されると成長が止まってしまいます。牧草の生長点は、茎基部（葉の根元付近、チモシー等）やほふく茎の先端（白クローバー等）にあります。



これらを解消するため、草地の凹凸を均し、傾斜の緩和を図ることにより牧草の収穫に伴う作業性や生産性が向上します。

2. どのようにして工事で不陸や傾斜等を解消するの？

① 草地の連続的な凹凸を均すには？

草地にある連続的な凹凸を土の移動なしに、ディスクハローのブレード等で不陸を均します。（不陸均し、起伏修正Ⅰ）



ディスクハローブレード付による不陸整地

② 傾斜の緩和や大きなうねりを解消するには？

ブルドーザ等により表土をはがして山の頂部や斜面を切り崩し、また、谷部を埋めるなどして基盤の土を移動して、傾斜やうねりを解消します。（改良山成工、起伏修正Ⅱ）



ブルドーザによる切盛・整地